

クオリティゼミナール

Quality Seminar

東京大学を 目指さないか

佐賀西高のベテランの先生から
「君は東京大学を目指さないか。」
と言ってもらった彼。しかし、彼は
「いや僕が東大なんて」
と答えたと言うのです。

佐賀大学教育学部を目指して頑張ってきて、広島大学A判定、九州大学B判定の彼にとって東京大学が思考の外であることは十分理解できます。しかしここは、学力より大切な人生の向き合い方を教育するチャンスだと思い、
「学校の先生にそのような声をかけてもらうなんて滅多にないよ。人生で声がかかる人、かからない人がある。それが大きく人生を分けることもある。だから軽く受け止めるべきではないよ。」
と諭しました。それでも彼は、
「僕にはそんな実力はないので・・・。」
と答えるのです。

この子しかないのです

人並みにできるようになることを望まれて小学四年生のときにクオリティゼミナールにやってきた彼が、言われた通りに勉強したら、大和中学で1位になり、佐賀西高に合格し、二年生でグレードコースに入り、学年で5位(文系)にまでなったのです。大したものですよ。
お母さまは目標の広島大学に合格するだけでもありがたいとおっしゃられています。
初めての面接の時のお母さまの言葉が今でも鮮やかに残っています。
お母さまは朴訥な方で、
「自分の子どもだからそんなにできないのは分かっています。私たちが入れるような塾ではないと思っています。でも先生、私にはこの子

しかないのです。どうかよろしくお願いします。」
と精一杯おっしゃりながら頭を深くと下げられるのです。
私は尋ねました。
「お母さん夢で良いですから、どこの高校に行って欲しいですか。夢でいいですよ。」
すると申し訳なさそうに
「致遠館高校にでも合格すれば夢です。無理なのは分かっていますけど。」
この瞬間、
「この子を佐賀西高に合格させてやろう。」
と私は決心しました。

親の欲ではなく、我が子を思う親の純粋な気持ちが痛いほど伝わってきたので、この子の存在がお母さまの生きがいになり、人から羨ましがられる子にするぞ！と思ったのです。
クオリティゼミナールの保護者さんの多くがそんな方々なのです。親の思い、そして子どもたちの懸命な姿が私をハードワークへと駆り立てるのです。

出会いが人生を変える

人生はひょんなことから大きく変わったりします。それがあの人との出会いであったり、ある本の一節であったり、私自身もそのような出会いに恵まれた一人です。
若き日に大先輩が所有されている海辺の別荘に一週間も招いて頂き、礼節や義理、感謝の現し方等をはじめ、生き方を教えて頂きました。またマウイ島では付き人のようにご一緒させていただき、ジェントルマンの一挙手一投足を隣で見て、一流の振る舞いに触れることができました。このことが後に、私の心構えに大きな影響を与え、考え方や行動を変えることになったのです。このような出会いに恵まれたことで今の私があります。
だから生徒さんにも出会いが人生を変える可能性があることを伝えたいのです。そして可能性という言葉だけではなく私がしてもらったように実際にその機会を提供したいのです。
彼に提案しました。
「東京大学はさておき、3年生の先輩が東大理Ⅰを目指していてA

判定だよ。先輩との対談の場をつくるから一緒に食事をしよう。」
そうして星乃珈琲で時間を共にするので。目の前に凄すぎる先輩がいる。西高1位で生徒会長経験者であり人格者の大先輩が彼だけのために話をしてくれる。
第二回目は、クオリティゼミナール近くの焼き肉「勝」の個室です。二人にふさわしい場所を選びました。育ち盛りの二人にお肉の注文をしていると、先輩が
「もう住むところは決めました。東大から20分くらいの所です。」
と、受験前からその覚悟を一言でサラッと話してくれて一気に会話は弾みます。
注文が済んだら私は早々に席を外して2人きりの対談の始まりです。どんな話をしたのか、学びになったのか心配はいりません。共に時間を過ごすことが大切なのです。
彼には自分の部屋が無く、甥っ子たちが

走り回るリビングで勉強しています。彼の環境を知っているからこそ、自習室など良い環境を求めず、環境に不満を言わない考え方を教えました。そんな彼の生活環境の中に対談を通して東京大学や京都大学といったワードが入ってきたのです。

彼は何を感じたのだろう

私たち大人は、若者のために手取り足取りする必要はありません。ただその環境を作ってあげることが大切なのです。ダイヤモンドはダイヤモンドで磨かれるように、人は人で磨かれるのです。西高トップという大先輩との対談を通して彼は「何を感じた」のだろう。



池松英治 (いけまつ ひではる)
クオリティゼミナール塾長
社会福祉法人ガジュマル理事。ひよ子子ども園園長。
小学生から大学受験まで指導。勉強が苦手な生徒さん、支援が必要な生徒さんを丁寧に指導。不登校の生徒さん及びご家族と向き合い復活させている。ここ6年で6人の医学部医学科合格。

